

●弓道に必要な物リスト（練習時に必ず持参しましょう） 2023/11版

- ・リュック（両手の空かないバッグは使用しない事 ※トートバッグ、肩掛けバッグはやめましょう）
- ・弓（1）
- ・矢(6～8本以上) + 矢筒
- ・巻藁矢（1本）
- ・蹠（1）
- ・下げ（あるだけ良い）
- ・道着（1）
- ・袴（1）
- ・帯（1）
- ・足袋（1～2足）
- ・胸当て（女性）
- ・替え弦 + 弦巻（二本以上用意すること）
- ・ギリ粉
- ・フデ粉
- ・弓袋（石突の着用は任意だがあると良い）
- ・弓合羽（弓、矢筒が両方入る物が良い。穴が空いてないか確認する）
- ・弓合羽用タオル（弓合羽が濡れたまま道場に入らない。必ず入場前に雨を拭いてから入場する）
- ・汗拭き用タオル
- ・飲み物（水筒、ペットボトルなど栓が出来る物をにする。水が好ましい）
- ・的中記録ノート（指導された内容も記録する ※スマホで記録は道場内でのマナーに注意）
- ・ボールペン

●用意するべき物（あると便利です。自身で購入したほうが良い物）

- ・ペンチ（筈・矢尻の交換。的枠に矢が挟まった時の対処時に使用）
- ・ハサミ
- ・的中定規（プラスチック製がおすすめ）
- ・木工用ボンド（ノーマルの黄色が良い。白の速乾性は早く乾きすぎて作業が遅い人には不向き）
- ・道宝（中仕掛け作成の為の道具）
- ・テーピング（手指の保護に使用。ダイソーで買えます）
- ・筈（使用している矢のシャフト径に注意する。1913・2025・カーボン矢など）
- ・矢尻（使用している矢のシャフト径に注意する）
- ・弦（新品）
- ・握り革（新品）
- ・作業用手袋（的枠に矢が挟まった際に便利。矢尻、筈を抜く。遠的で矢を抜く際にも役立ちます）
- ・マジック（中仕掛けに印を描く）
- ・平やすり（筈が凹んだ際に役立ちます）
- ・グルーガン（筈や矢尻の交換時に使用）
- ・籐（交換用・自分で出来なければ弓具店に修理を依頼しましょう）
- ・あてゴム（弓の握りに必要なアンコです。ゴムに限らず、自身に合うものを用意しましょう）
- ・蹠蠟（蹠溝に塗布するロウソク）

●あると便利な設備・道具

- ・やかん or スチームアイロン（湯気をあてて矢羽根の手入れ）
- ・ガスコンロ（矢尻を抜くにはガスコンロであぶるのが一番早いです）
- ・電動ドリル（筈が折れてしまっても電動ドリルがあれば抜けます）
- ・鍋（籐を交換する際に使用します。弓具店で交換してもらう場合は不要です）
- ・スマートフォン+三脚（射形の確認のため、動画撮影に使用します）
- ・爪切り（爪の長さは短く、定期的に手入れしましょう）
- ・はんだごて（弾溝に弾口ウを塗布する際に使います。アイロンでも可 慣れが必要なので注意）

●冬場あると良い物

- ・ホッカイロ
- ・ハンドクリーム（手が乾燥すると、手の皮が切れて怪我をする場合があります。しっかり保護しましょう）
- ・ワンサイズ大きい足袋（足袋の中に白い靴下を履いて、床の冷たさを防ぎましょう）
- ・高機能防寒着（ヒートテックなどのインナーは必須）

●自宅練習用（用意できる範囲で選びましょう）

- ・ゴム弓（座右弓）
- ・ゴム弓（一本）
- ・ゴム弓（弓太郎）
- ・巻藁 + 巻藁台

●試合・遠征時の持参品

- ・矢拭き（道場によって矢拭きは各自持参することという場合があります）
- ・歯磨きセット（長時間に渡る場合はあると良い）
- ・携行食（食事をするタイミングが無い場合がある為、軽く口に入れられる物）
- ・飛行機または新幹線のチケット（遠征時）
- ・交通系IC（スイカなど）
- ・雪駄（必要であれば）
- ・双眼鏡（必要であれば）
- ・折り畳み傘（長い傘より折り畳みの方が良い。ボタン開閉式が特におススメ）
- ・着替え（宿泊する場合）

※弓具のメンテナンスは自身で行えることが理想です。弓具店で職人さんに依頼すると費用がかかります。